

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 介護と医療の連携をもっと進めるために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

高齢化に伴い、介護が必要な人が増えていきます。核家族化が進んだ中、独居であったり、老々介護も増加すると思われていますが、病床数や施設の数も充分とはいえない状況です。

今後在宅での介護が増えていくことが予想されます。住み慣れた地域で最期まで暮らすため、介護する人の離職や介護疲れによる不幸な出来事を回避するためにも、医療と介護の連携は不可欠です。

さらに多職種の連携をすすめて行くために以下、質問します。

1、現在は約 80 パーセントの方が病院で看取られています。今後高齢者が増加することによって希望しても病院で最期を迎えることができないケースが増えてくることが予想されています。特別養護老人ホームなどの受け皿も含め、今後の市の取り組みをご披瀝ください。

2、要介護状態にであったり外出困難で疾病を持っている方には在宅での医療が必要と思います。市の見解は。

3、2010 年小平市で設置された在宅医療連携調整窓口のこれまでの相談件数の実績をご披瀝ください。

4、介護と医療の連携には多職種の連携が欠かせないと思います。小平市在宅医療介護連携推進協議会の役割と構成メンバーをお示してください。

5、小平市在宅医療介護連携推進協議会拡大協議会でどのような取り組みが行われているか教えてください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

平成 28 年 2 月 12 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)